

JAおおいたGAP研究会

～団体認証の強みを活かし販路拡大・有利販売を実現～

<基本情報>

所在地:大分県大分市

設立:平成27年9月

構成戸数:78戸

<経営概要>

経営面積:99.7ha(柑橘:7.9ha,みつば:5.6ha,

いちご:7.2ha,大葉:12.4ha,

白ねぎ:58.9ha,七草:7.7ha)

販売先:大手量販店など

認証品目:柑橘(ぽんかん、不知火)、みつば、

いちご、大葉、白ねぎ、七草



【従来の2段詰めパック】



【1段詰めパック】

<団体認証による効果>

【販路拡大】

GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより、

○高単価商品としての販路拡大(糖度等の品質基準も有り)

○西日本全体へ販売エリアが拡大

【有利販売】

出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、

・いちごについては、2段詰めのパック(7規格)から1段詰めのパックへの規格(2規格)に簡素化したことで生産者のパック詰めの作業効率が2倍以上に効率化

(H24年度:7,840g/時間→H25年度:15,000g/時間)

・柑橘については、摘果が必要な2L～3Lサイズの規格を摘果が不要な小玉階級への変更が可能となり、H25年度より生産者の摘果作業が省力化

<GAPの取組状況>

実践段階で分かりやすいマニュアルを使用し、生産者の負担を軽減

平成23年 6月 残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、認証に向けた準備開始

平成24年10月 いちご部会でJGAP認証取得

平成26年 2月 みつば部会、柑橘部会でそれぞれJGAP認証取得

平成28年 2月 平成27年に3団体を統合し、「JAおおいたGAP研究会」としてJGAP認証取得

平成30年 2月 3品目(大葉、白ねぎ、七草)追加し、JGAP認証継続(構成戸数:66戸→78戸)

<構成する1経営体(生産法人)の取組効果>

GAPに取り組み、蓄積したデータの分析や経営改善を持続的に行ってきたことにより、

○収益を約2倍に拡大

9.2万円/10a(H21年度)→19.6万円/10a(H28年度)

○肥料・農薬費を約6割削減

4.9万円/10a(H21年度)→2.8万円/10a(H28年度)

<団体事務局の運営効率化>

・いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は45万円→15万円、審査対象農場数の削減により農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減。事務局の審査対応に係る作業時間も削減